

議員表彰制度廃止を

2006.2.9
(水) 三多摩
ネット 市議長会に申し入れ

多摩地区二十市町村の無所属議員らで構成する

「市民自治をめざす三多摩議員ネットワーク」は、議員の永年勤続表彰制度を廃止するよう全国、関東、都の各市議会議長会に申し入れた。

申し入れは今年で三回目。申入書では「誤った特権意識を醸成する」「費用を税金から支出すること、合理的な妥当性がある」として市民の合意を得られるものとは考えられない」と指摘。全国市議会議長会が昨年度、議会事務局職員永年勤続表彰制度を廃止したことに触れ、議員につ

いても同様に廃止すべきだ、としている。

また同ネットは、関東市議会議長会が昨年十二月に各議長を対象に実施したアンケート結果を公表。それによると、多摩地区二十六市のうち十一市が正副議長、議員の表

彰制度を「見直す必要があり廃止する」、一市が「見直す必要がある」と回答していた。同ネットは、こうした状況を踏まえ「来年度はかなりの辞退者が出るだろう」としている。

制度は全国、関東、都の市議会議長会がそれぞれ議員の勤続年数に応じて規定。対象者には、表彰状と、宝石入りバッジなどの記念品が贈られる。本年度の都市議会議長会の表彰事業特別会計には百七万円が計上されている。(服部 展和)